

インターネットは世界中とつながっている

インターネットやパソコン、スマートフォンなどは近年めざましい発達を遂げています。インターネットにつながることで、インターネット上の情報を世界中の人が見るできるようになりました。インターネットに情報を載せる時にあなたの周りに誰もいなくても、一度情報がアップされれば世界中の人々の目に触れることになるのです。そして一回インターネット上に載った情報は完全に削除することはできません。利用方法を誤ると、ささいなことから大きな犯罪や事件、トラブルに巻き込まれてしまう可能性があります。インターネットを適切に利用できるよう、以下の点に十分注意してください。

●自分の個人情報を載せない

名前、学年クラス、出席番号、住所、電話番号、メールアドレス、写真など、個人を特定できる情報を載せないようにしましょう。また制服姿、体操着姿の写真や学校での写真も載せないようにしましょう。あなたは個人情報を載せていないつもりでも、インターネット上では様々な情報が出回り、個人が特定されてしまいます。「自分しか知らないだろう」、「友人しか見ないから」、「これくらいなら大丈夫だろう」という安易な考えは捨て、情報の発信には細心の注意を払ってください。

●他人の個人情報を載せない

他人の個人情報も載せてはいけません。他者の情報（名前や写真など）をインターネット上に載せるということは、その人を危険にさらす可能性があるとして理解してください。被害者にならないための注意だけでなく、加害者にならないための注意も怠らないようにしましょう。

●知らない人とのコミュニケーションに注意する

インターネットなどの発達で、遠く離れた人との連絡も速く、そして簡単になりました。その便利さの反面、よく知らない人やまったく会ったことのない人と容易に接触する機会が増えています。インターネット上でやりとりを重ねると、あたかもその人と親しくなり、その人のことをよく知ったような気持ちになりがちですが、あくまでもその人は見ず知らずの人です。知らない人とのコミュニケーションは、重大な事件に巻き込まれる危険があることを十分に理解しましょう。

●人を傷つける行為や学校の名誉を損なう行為は絶対にしない

安易な気持ちでの書き込みや写真の掲載などが、将来の進路や就職に不利益をもたらす場合もあります。また、他人を傷つける悪口や陰口などは絶対にしてはいけません。あなたが悪意を持たずに発した言葉でも、他人から見れば不愉快なこともあります。自分の言動がどのように取られるかを日頃からよく考え、気をつけましょう。また、学校にかかわるサイト等を無断で立ち上げたり、学校に関する投稿なども行わないようにしましょう。

適切なソーシャルメディアの扱い方を身につける

LINE やツイッターなどの SNS はただのツールです。皆さんの生活をより便利に、快適にするための単なる「道具」にすぎません。これらは皆さんが正しく適切に使いこなすべきものであって、皆さんの生活がこれらのツールに振り回されてはいけません。このことを踏まえ、次のことに注意しましょう。

●友人関係におけるソーシャルメディアの扱いに注意する

LINE やツイッターなどのソーシャルメディアは非常に便利ですが、近年ではそれらによるトラブルが多発しています。生徒の皆さんは、友人との付き合い方においてソーシャルメディアを適切に扱うようにしてください。

身近な具体例としては、返信に関するトラブルがあげられます。連絡したのにすぐに返信がない、と不安に駆られる前に、相手がすぐ返信できる状況ではないのかもしれない、もう少し待とう、と冷静になって考えてください。また、単なる義務としてコメントやスタンプをしている事例もあります。相手に返信を強要しない、反応がなくても気にしないというように、友人との適切な付き合い方を身につけましょう。

また、電話を夜遅くにかけない、メールやLINE を遅い時間に送らないことはマナーです。中学部生は9時以降、高等部生は夜10時以降には連絡しないようにしましょう。

●スマートフォン、携帯電話に依存しない

簡単に友達と連絡をとり合えるソーシャルメディアは、分からない問題を教えあったり、テストの範囲を確認したりと学習に活用できることも多いことでしょう。しかしその一方でLINE やメールをしていて勉強時間を十分に確保できない、という問題を抱える生徒も多く見られます。それが分かっているながら、スマートフォンや携帯電話を手放せない、という依存状態を防ぎ、学習環境を整えるためにも、時間を決めて利用する意志の強さを持ってください。例えば、決めた時間になったら電源をOFFにする、自分の手元ではなくリビングに置く、といった工夫をしてみましょう。

●利用しない勇気をもつ

「利用したことがない」、「利用する気がない」、というのは決して恥ずかしいことではありません。周りの人が利用しているからあなたも利用しなければならない、ということはありません。「知らないでいる」ことの勇気、「使わない」勇気を持つようにしましょう。また利用して傷ついたり悩んだりするのであれば、「見ない」という決断も必要です。

●大切なことは直接言う

人とのコミュニケーションの手段として最も良い方法は、直接話をする、ということです。手紙、電話、メール、LINE などはその代替手段です。大切なことは直接本人の目を見て話をしましょう。顔の見えない言葉だけのやりとりでは思いもかけない誤解が生まれることもあります。相手に自分の気持ちや想いを直接伝えられるようになりましょう。

《保護者の皆様へ》

学習時間の確保において、最大の障害となりうるのが携帯電話やスマートフォンの長時間利用です。スマートフォンの使用時間と学力の関連について、2014年には文部科学省が全国学力・学習状況調査の結果として「メールやインターネットをする時間が長い生徒ほど、全ての教科で平均正答率が低かった」と発表しています。いかに自分でコントロール・管理をするか、という問題ですが、それができていないお子様に対してはやはり保護者の方のコントロールが必要です。

●校内での携帯電話・スマートフォンの使用禁止

本校では生徒の学習環境を整え、学習意欲の安定を図る目的から、校内での携帯電話・スマートフォンの使用を一切禁止しております。(非常時・災害時を除く。) **緊急にお子様ご連絡をお取りになりたい場合は、まずは学校にご連絡ください。**

●ご家庭でのルール作り

本校では講演会や授業など様々な場面で、生徒に対して携帯電話・スマートフォンなどの使用に関するマナーや注意事項などを指導しております。また、長時間の利用は家庭学習の妨げになり、生活習慣も乱してしまう可能性があります。携帯電話・スマートフォンの利用に関するルールを生徒と話し合っ各ご家庭でお決めください。単に厳しいルールで縛るのではなく、ルールを決める本当の意味・ルールの必要性をお子様に理解させてください。

＜ルールの例＞

- ・時間を決めて利用し、定刻になったら電源をOFFにする、またはリビングに置く。
- ・勉強中、食事中は電話・メールをしない。
- ・メールなどのやりとりの回数や頻度を把握する。
- ・人の悪口は絶対に書かない。

なお、学校の方針としては中学部生は9時以降、高等部生は夜10時以降に電話やメールなどをしないことをマナーと指導しております。

●フィルタリング機能の設定

スマートフォン、携帯電話、PCに、フィルタリング機能(有害な情報を閲覧できなくさせるプログラムやサービス)を設定しましょう。これらの機能は万全ではありませんが、インターネットを利用する上での危険を減らすことができます。

本校は、生徒のインターネット利用時の被害を未然に防止することを目的に、インターネットサイト監視システム「スクールガーディアン」(株式会社 ガイアックス)を導入しております。しかしながら、トラブルから身を守るのは最終的には本人です。判断力がしっかりと身につくまでは、お子様だけに任せきりにせず、使用ルールなどについて、ご家庭でよく話し合ってください。

また、本校では個人が特定できてしまう内容の書き込みや写真の掲載などは重大な事件やトラブルの元となるため、そのような行為に関しては注意・指導の対象としております。ご理解いただくと共に、ご家庭でもご指導ください。

本校では、以下の内容を生徒指導の対象としています。

- * 個人や団体を特定できる顔写真や制服姿での写真（友人、学校関係者の画像を含む）の掲載
- * 学校名、学年、クラス、所属クラブ、あだ名など個人を特定できる記載
- * 最寄り駅等を含む住所に関する情報の掲載
- * 第三者が勝手に加工し、悪質に利用されてしまう危険性のある情報の掲載
- * 誹謗中傷、暴言
- * 携帯電話の番号やメールアドレス、IDなどの個人情報の書き込み
- * 出会い系サイトへの書き込み
- * 法律違反、校則違反にあたる内容の書き込み